

2016（平成 28）年度 日本社会福祉士養成校協会
九州ブロック研究大会開催要項

◆◇大会テーマ◆◇

「災害時支援と地域連携

～これからの専門職養成に向けた教育・カリキュラムに求められるもの」

1. 目的

日本社会福祉士養成校協会九州ブロックは、「社会福祉士養成校の教育内容の充実及び振興を図るとともに社会福祉に関する研修開発、知識の普及に努め、もって国民の福祉増進に寄与する」ことを目的として、年 1 回、九州ブロック研究大会を開催してきました。

今年度は、災害ソーシャルワークをテーマに下記の日程で研究大会を開催します。阪神淡路大震災、東日本大震災、それに熊本・大分地震等の経験を経て確立されつつある災害ソーシャルワークを実践できる専門職を養成していくうえでの課題を確認し、災害ソーシャルワークの今後を展望していきたいと思っております。今回、初日の基調講演の講師に聖徳大学の北川慶子氏をお招きしました。また、続くシンポジウムでは、熊本・大分地震での経験を踏まえた災害ソーシャルワークのあり方について上原加代子氏（NPO 法人にしはらたんぼぼハウス・熊本県西原村）、黒木邦弘氏（熊本学園大学）、山本克彦氏（日本福祉大学）の 3 氏からご発言いただくとともに、北川慶子氏にご助言をお願いする予定です。

2. 主催：一般社団法人 日本社会福祉士養成校協会九州ブロック

共催：一般社団法人 日本社会福祉教育学校連盟九州ブロック

3. 開催日程

1 日目：2017（平成 29）年 2 月 16 日（木） 13：00～17：30（終了後、情報交換会）

2 日目：2017（平成 29）年 2 月 17 日（金） 9：30～12：00

4. 会場

長崎国際大学 1 号館 1101 教室他

〒859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町 2825-7

5. 対象

社会福祉士養成校協会九州ブロック加盟校教員、相談援助実習指導担当者

社会福祉専門職団体協議会会員、社会福祉従事者、その他

6. 担当校

長崎国際大学

大会長 坂本 雅俊（長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科 学科長）

7. 参加申し込み

同封の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXにて平成29年2月3日（金）までにお申し込みください。

<FAX 送信先> 長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科 助手研究室（担当：金子）

FAX：0956-20-5583

8. 参加費

大会参加費：2,000円（実習施設：機関関係者及び学生は無料）

情報交換会費：5,000円

9. 参加費の納入

参加費・情報交換会費は、当日会場受付にてお支払いください。

10. 宿泊先

宿泊先は各自でお手配ください。

*会場の大学周辺にはビジネスホテル等がほとんどありませんので、宿泊先のお手配は佐世保駅近辺が便利です。

11. 連絡・問い合わせ先

事務局への連絡・問い合わせは、原則としてメール、またはFAXにてお願いいたします。

大会メール：n-kyuburo@niu.ac.jp

FAX：0956-20-5583

<事務局> 長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科 助手研究室
〒859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町 2825-7

FAX：0956-20-5583

メール：n-kyuburo@niu.ac.jp

（事務局長：原田奈津子、事務局スタッフ：脇野幸太郎、金子麻美、田渕真由子）

◆◇プログラム◆◇

第1日目：2月16日（木）

12:30～13:00 **開場・受付**

13:00～13:15 **開会**

挨拶：運営委員長校より（九州看護福祉大学）

挨拶：担当校より（長崎国際大学）

大会案内オリエンテーション：担当校より（長崎国際大学）

13:15～14:15 **基調講演「災害時支援（仮）」**

講師： 聖徳大学 北川慶子氏

14:15～16:00 **シンポジウム「災害ソーシャルワーク**

——熊本・大分地震から連携と専門職養成のあり方を考える」

会場：1号館1階 1101教室

発言① NPO 法人 にしはらたんぼぼハウス 上村加代子氏

発言② 熊本学園大学 黒木邦弘氏

発言③ 日本福祉大学 山本克彦氏

助言 聖徳大学 北川慶子氏

コーディネーター： 長崎国際大学 脇野幸太郎氏

16:10～16:45 一般社団法人 日本社会福祉士養成校協会九州ブロック総会

16:50～17:30 一般社団法人 日本社会福祉教育学校連盟九州ブロック総会

18:00～20:00 **情報交換会** 会場：ホテルローレイ

(会場へはバスでご案内いたします)

第2日目：2月17日（金）

9:00～9:30 開場・受付

9:30～12:00 分科会

第1分科会「地域における医療と福祉に関わる専門職の養成—多職種連携の基盤づくり」

会場：2号館1階 2101教室

コーディネーター 長崎国際大学 原田奈津子氏

発表者① 長崎純心大学 医療・福祉連携センター 奥村あすか氏

発表者② 長崎純心大学 医療・福祉連携センター 吉田麻衣氏

第2分科会「『我が事・丸ごと』地域共生社会を社会福祉教育はどのように捉えるか」

会場：2号館2階 2201教室

挨拶 （一般社団法人）日本社会福祉教育学校連盟九州ブロック

支部長校 長崎ウエスレヤン大学 廣田悦子

I部 9:35～11:00 講演

コーディネーター 貫優美子(九州保健福祉大学)

講演者 特定非営利活動法人 デイケアハウス にぎやか 阪井由佳子氏

II部 11:00～11:50 質問・討論

12:00 分科会ごとに終了

◆◇大会テーマ・基調講演・シンポジウム・分科会主旨◆◇

1. シンポジウム主旨

テーマ：「災害ソーシャルワーク ―熊本・大分地震から連携と専門職養成のあり方を考える」

福祉や医療、保健分野における地域での連携や専門職養成は重要な課題となっています。今回のシンポジウムでは、2016年4月に起きた熊本・大分地震で、どのように地域の中で震災時の対応を行ってきたのか、現場や養成校からの実践報告をしていただきます。また、災害ソーシャルワークとして社会福祉士養成の中でどう扱っていくのか、特に具体的なカリキュラムへの反映やどのように授業を展開していけばよいのかの方向性について意見交換をしていきたいと思っております。

2. 分科会主旨

第1分科会 「地域における人材育成の取り組み ―多職種連携の基盤づくり」

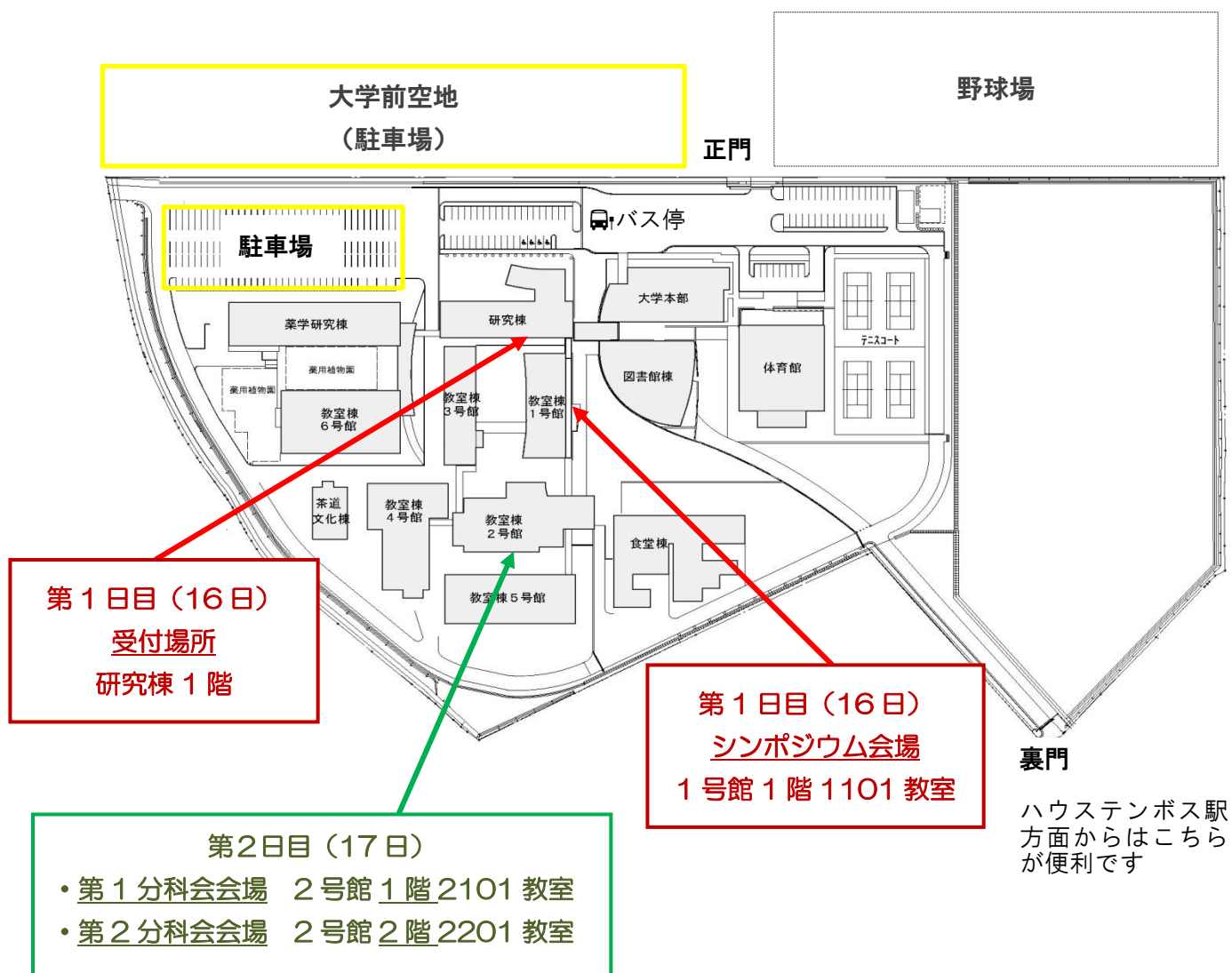
長崎純心大学では、長崎大学医学部との連携事業として、地域包括ケアシステムや地域包括支援システムを担うことができる専門職を養成するために、文部科学省の「平成25年度未来医療研究人材養成拠点形成事業【テーマB】リサーチマインドを持った総合診療医の養成」に取り組んでいる。本分科会では、両大学による多職種連携教育の実際とそれらによって得られた教育効果の一端について報告する。

第2分科会 「我がごと、まるごと、地域共生」

昨年、平成28年度より厚生労働省は「『我が事・丸ごと』地域共生社会」の実現に向けて、「他人事」になりがちな地域づくりを地域住民が「我が事」として主体的に取り組む仕組みを作るとともに、市町村においては「丸ごと」の総合相談支援の体制整備を進め、「縦割り」から「丸ごと」への転換が図られている。また、サービスや専門人材の養成に対しても、養成課程の改革を進めていく必要があるといわれている。

そこで、第2分科会では、「『我が事・丸ごと』地域共生社会」の実践を「富山型」の実践者から拝聴し、現場での困難状況との違いや、私たちが求める福祉専門職をどの様に育成していくべきか等を討論し、今後の社会福祉養成教育のあり方をも検討する機会としたい。

◆◇キャンパス・会場マップ◆◇



*第1日目 (16日) と第2日目 (17日) で会場が異なりますのでご注意ください。

*ハウステンボス駅からお越しの際は、裏門からのご入構が便利です。

*お車でお越しの際は、正門を入れて左手奥 (薬学研究棟前) または大学前空地の駐車場 (黄色囲みの箇所) をご利用ください。

◆◇会場への交通アクセス◆◇

*JR「ハウステンボス」駅より徒歩約18分

*JR「早岐」駅よりバスまたはタクシー約10分

(博多・佐賀方面よりJRでお越しの場合、佐世保駅まで行かずに早岐駅またはハウステンボス駅で下車されると便利です)

*西肥バス：佐世保・早岐方面より「ハウステンボス西門」行きまたは「川棚バスセンター」行き乗車「長崎国際大学」または「塔の崎(長崎国際大学入口)」下車(佐世保駅より約35分・早岐駅より約10分)

(上記バスには「長崎国際大学」を經由する便としない便があります。「長崎国際大学」經由便は大学構内まで乗り入れます。經由しない便の場合、「塔の崎(長崎国際大学入口)」で下車、裏門まで徒歩約3分です)

【各地からの交通アクセスと所要時間】



◆◇ハウステンボス駅より長崎国際大学へのルートマップ◆◇



JR「ハウステンボス」駅より徒歩約18分です。